4 次の の中に適当な数または式を入れよ、また(1)~ $(\pi)$ 0 「」で囲まれた文章の理由を、最後の(1)~ $(\pi)$ 0 の解答のところで述べよ、

方程式 
$$x^2 - 3y^2 = 1$$
 (1)

をみたす整数の組(x,y) を求めることを考える。(以下この方程式の整数解を単に解と略称する。)

準備のために次のことを確かめておく.

(イ)「a , b , c , d が整数であって ,  $a+b\sqrt{3}=c+d\sqrt{3}$  ならば , a=c , b=d である」 次に (x,y) が解であれば , (x,-y) , (-x,y) , (-x,-y) も解であることは , 方程式 (1) により明らかであるから , (x,y) が共に負でない解を求めることが基本的である . それでそのような解を求める手段として

$$(2+\sqrt{3})^n = x_n + y_n\sqrt{3},\tag{2}$$

 $(x_n$  ,  $y_n$  は負でない整数 ,  $n=0,1,2,\cdots\cdots$  ) とおく . そうすると (イ) によって ,  $x_0=1,\quad y_0=0,\quad x_1=2,\quad y_1=1$ 

 $x_2=$  ,  $y_2=$  ,  $x_3=$  ,  $y_3=$  である. 一方, $(2+\sqrt{3})^2$  と  $(2-\sqrt{3})^2$ , $(2+\sqrt{3})^3$  と  $(2-\sqrt{3})^3$  などを比較することによって,一般に

$$(2 - \sqrt{3})^n = x_n - y_n \sqrt{3}, \quad n = 0, 1, 2, \dots$$
 (4)

であることがわかる.

$$(2)$$
 と  $(4)$  と ,  $(2+\sqrt{3})(2-\sqrt{3})=1$  とを使って , 
$$1=(2+\sqrt{3})^n(2-\sqrt{3})^n=x_n^2-3y_n^2$$

となるから,(2) で定まる  $(x_n,y_n)$  は方程式 (1) の解であることがわかる.とくに,x,y の一方が 0 となるような負でない解は,明かに x=1,y=0 で,それは (3) の  $(x_0,y_0)$  に外ならない.

次に  $(x_{n-1},y_{n-1})$  と  $(x_n,y_n)$  との関係を求めてみる  $(n \ge 1)$ .

$$x_n + y_n\sqrt{3} = (2 + \sqrt{3})^n = (x_{n-1} + y_{n-1}\sqrt{3})(2 + \sqrt{3}) =$$

ゆえに, $x_n =$ , $y_n =$ 

したがって  $(x_0,y_0)$  から出発して,負でない解  $(x_1,y_1)$ , $(x_2,y_2)$ , $\cdots$  ,  $(x_n,y_n)$ , $\cdots$  を順次求めて行くことができる.しかも  $y_1 < y_2 < y_3 < \cdots$  である.

以上のことで負でない解を多数みつけたのであるが,これらで負でない解が尽く されているかどうかを次に吟味する.

いま任意の正の解(x,y), (x>0,y>0) をとると,

$$(x + \sqrt{3}y)(2 - \sqrt{3}) = (2x - 3y) + (2y - x)\sqrt{3}$$

- (ロ) 「x'=2x-3y , y'=2y-x とおくとき , (x',y') も解である」
- (八) 「そしてx > x' > 0, $y > y' \ge 0$ である」
- (二) 「それで、任意の正の解(x,y) から出発して、(ロ) における(x',y') を求める操作を順次行なうことによって、(3) に示す負でない解 $(x_0,y_0)$  に達する」
- (ホ) 「したがって,任意の負でない解 (x,y) は式 (2) によって定まる  $(x_n,y_n)$   $(n=0,1,2,\cdots\cdots)$  のどれか 1 つである.」